

風水害への備えは充分ですか？

大切な命を守る備えと行動を

令和2年7月豪雨では、熊本県を中心に全国各地で甚大な被害が発生しました。豪雨や台風に備えるため、まずは「防災本」で避難の必要がある場所かどうかを確認しましょう。住んでいる自宅が安全な場合は避難所に行く必要はありませんので、在宅避難をしましょう。



まずは「防災本」
をチェック！

川口市 防災本

検索

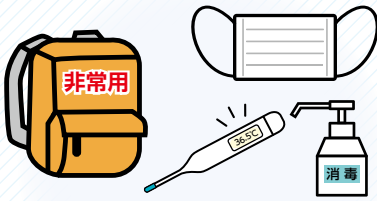


うちは安全かな？

避難が必要なときのポイント

避難の前に確認！

非常持出袋



▶玄関先などに水、食料、毛布、常備薬などを準備しましょう。また、マスク、体温計、消毒液などの感染症対策用品も忘れずに備えましょう。

避難時の身支度



▶ヘルメットや手袋、ヘッドライト、避難用の運動靴などを準備しましょう。長靴は浸水時に歩きづらく危険なため避けましょう。

移動手段



▶車での避難は、豪雨などによる道路冠水で車内から脱出できなくなる可能性があり、水没した車内で亡くなる「車中死」も報告されています。原則、徒歩で避難しましょう。

避難時に注意！

川などに近づかない



▶川や用水路、橋などの様子を見に行くと、流されるなどの被害に遭う可能性が高く大変危険です。絶対に近づかないようにしましょう。

明るいうちに避難を



▶夜間の暗い中では、周囲の状況などが把握しづらく非常に危険です。できるだけ明るいうちに避難しましょう。

浸水後の避難は危険



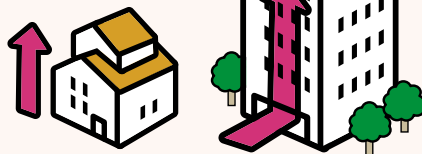
▶膝くらいの水深でも、流れがある場合は歩くことが困難になります。また、水が濁り足元の状況確認が難しく大変危険です。できるだけ、浸水後の避難は避けましょう。



命を守るための避難行動

屋外に出るとかえって危険な場合や安全性の高い建物にいる場合は、無理に屋外へ避難せず可能な限り上層階へ『垂直避難』するなど、命を守る最善の行動をとりましょう。

▶自宅や丈夫な建物の上層階へ避難しましょう。



■市では、緊急的に避難するための洪水時一時緊急避難施設として、ご協力いただけるマンションや大型商業施設などを募集しています。

土砂災害に注意！

市内には34カ所の「土砂災害警戒区域」があり、うち18カ所が「土砂災害特別警戒区域」に指定されています。建物や人体に危害が生じる恐れがありますので、警戒区域付近に住んでいる場合は、土砂災害にも注意しましょう。



▶屋外が危険な場合は、上層階で斜面とは反対側の部屋に避難しましょう。



川口市 土砂災害

検索

問い合わせ…道路建設課

048-280-1217

FAX 048-285-2001